

第2回浜松市ユニバーサルデザイン審議会会議録

日 時：令和4年10月31日（月） 午前10時～11時20分

会 場：浜松市役所本館8階 第3委員会室

出席委員：宮田圭介会長、松井章子副会長、石塚良明委員、倉橋千弘委員、
田中佐和子委員、村松千香子委員、諸井宏司委員、横田みどり委員、
吉林久委員

欠席委員：飯野ホラン委員

事務局：奥家章夫市民部長、河合多恵子UD・男女共同参画課長、鈴木大祐課長
補佐、森下昌和UD推進グループ長、小楠浩規

傍聴者：2名（報道関係者2名）

会議録作成者：UD・男女共同参画課 小楠

記録方法：発言者の要点記録（録音の有無：無）

《会議次第》

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況について

(2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画事業評価報告書（案）について

4 その他

5 閉 会

《配付資料》

- ・資 料 1-1：第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況【総括表】
 - ・資 料 1-2：第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況【事業別】
 - ・資 料 2：第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画事業評価報告書（案）
 - ・資 料 3：第4回浜松市ピクトグラム選手権入賞者（小・中学生の部）
-

≪会議の経過≫

1 開会

(事務局)

令和4年度第2回浜松市ユニバーサルデザイン審議会を開催する。

当審議会は、浜松市ユニバーサルデザイン条例第18条に基づき、浜松市のユニバーサルデザインの推進に関する調査、協議及び評価をする組織として設置されているものである。

本日は、飯野委員が都合により欠席である。

2 会長あいさつ

宮田会長挨拶

3 議事

(事務局)

当審議会は、浜松市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開会議とする。また、会議録の作成については前回同様の対応とする。

議事の進行については、浜松市ユニバーサルデザイン審議会運営要綱第4条の規定により、議長は会長が務めるとされているため、会長にお願いします。

(1) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ） 第2期推進計画進捗状況について

事務局より

(資料1-1) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況【総括表】

(資料1-2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況【事業別】

について説明

(宮田会長)

事務局からの説明について、質問、意見があればお願いしたい。

(松井委員)

No.9の「世代間交流事業」について、市内にあるふれあい交流センターでは、高齢者と子どもとの交流があり、そうした世代間交流があってもよいのではないかと。

No.10の「職員のUD研修」について、US研修とは何か教えてほしい。

No.20 の「特性の違いを越えたスポーツ交流事業」について、ボッチャ用具の貸出やスポーツ推進委員の派遣だけではなく、スポーツを楽しみたい障がいのある人との交流があるとよいと思う。

No.35 の「ICTを活用した遠隔手話通訳サービス」について、実施内容が「手話通訳者が不在の時に活用した」とだけの記載であるため、件数を教えてほしい。

No.42 の「公園のUD化推進」について、最近インクルーシブ公園ができ、今後増えていけばよいと思う。

(事務局)

No.9 の世代間交流事業について、ふれあい交流センターは指定管理者が行っているため、当課がどこまで介入できるかという問題があるが、実績については報告していきたい。

No.10 のUS研修は、ユニバーサルサービス研修のことで、窓口職員を対象として窓口サービスの向上やお客様の満足度向上を図るための研修である。

No.20 の特性の違いを超えたスポーツ交流事業では、令和元年度まではイベントを開催し、義足の選手やボッチャの選手と交流していた。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、機材の貸出という形で実施内容を変更している。今後は交流という本来の目的に戻していくよう担当課へ指示していきたい。

No.35 のICTを活用した遠隔手話通訳サービスの利用件数について、令和3年度は15件、令和2年度は5件、令和元年度は6件、平成30年度は7件であった。このサービスは区役所に配置している手話通訳者が不在のときの対応と聞いている。

(田中委員)

No.37 の「音声文字化変換システム」の利用実績が減っているが、総括を見てもその理由が読み取れないので、もう少し踏み込んで記載してほしい。

(事務局)

記載内容については区役所の報告分だけになっている。実際にはこれ以外に本庁でもアプリをインストールして様々な部署で使用しているため、記載の仕方を検討していきたい。

(横田委員)

資料1-2は、この会議のためだけにまとめたものか。他にどこかで公表しているのか。

(事務局)

他に公表しているところはない。庁内のUD施策を総括・管理するために利用している。

(横田委員)

高校2年生と話す機会があり、SDGsの話をしたとき、「ユニバーサルデザインを知っているか？」と尋ねたら、男子の一人が「仕事をしやすくすること」と答え、UDを知っていることに感動した。

No.24の「女性就労支援事業」について、実施内容や総括を見ても具体的な取組内容がわからない。これだけでは理解することは難しく、もう少し具体的にわかる資料があるとよいと思う。他の事業についても同様である。

(事務局)

事業の内容について、わかりづらいところもあるので、もう少し具体化することと、目標や実施内容の記載方法にも工夫が必要だと思う。各課へ具体的に記載するよう指示していきたい。

(村松委員)

各課の個々の事業に対する実績や成果を見ていくのでは、全体が見えてこない。各課でそれぞれ実施している事業がUDにとって必要であれば、UD・男女課が主導して、各課を跨いだり地域の団体を繋いだりする役割を担ってもよいのかなと感じた。

(事務局)

第2次計画では、ハート、ソフト、ハードという体系の中でそれぞれ取り組んできた。第3次計画では、それぞれの事業をつなぎ、また、ユニバーサルデザインの考えは全ての事業に関係するものであると考えており、当課の役割として全ての事業を横断的に取り組んでいけるように全庁に周知していきたい。

(倉橋委員)

No.47の「自転車道の整備」について、よく利用する浜松雄踏線に矢羽根型路面表示があるが、自転車が走行しているのを見たことがない。自転車が利用していないのはPR不足ではないか。

(石塚委員)

浜松・浜名湖ツーリズムビューローではサイクルツーリズムを推進し、来訪者が自転車で円滑に目的地に行けるようにしたいと考えている。しかし、しっかり装備

した人たちが走行するのであればよいが、自動車の運転手も自転車の運転手も危ないと感じる人が多く、まだ浸透していないように思う。

(事務局)

ハード整備を目標値としているが、実際にどの程度利用されているのかという実績も効果としてみていく必要があるかと思う。

(宮田会長)

本件について承認する。

**(2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画 (U・優プランⅡ)
第2期推進計画事業評価報告書 (案) について**

事務局より

(資料2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画 (U・優プランⅡ)
第2期推進計画事業評価報告書 (案)

について説明

(宮田会長)

事務局からの説明について、質問、意見があればお願いしたい。

(吉林委員)

UDを広めるためには、学生を含む一般に対してと事業者に対しての二つの側面があると思う。一般については、理解度が51.5%、認知度が79.9%となっており、このギャップを埋めることが一つの解決方法ではないか。言葉だけ聞いたことがあるという層の人たちをどうやって動かすかということであるが、例えば福祉体験講座、共生・共育推進事業、世代間交流事業などを体験することにより実効性が高まるのではないかと思う。事業所については、UDそのものを知らなかったり、取り入れ方が分からなかったりと普及がかなり遅れている。全体として、引き続き啓発活動しながら事業に参加してもらうことで認識が深まるのではないかと感じた。

(諸井委員)

基本目標Ⅰでは、思いやりのある行動をしたのに被害に遭ったという報道が大きく取り上げられることがあり、思いやりのある行動をしてマイナスになることがないような広報を考えていく必要がある。また、会社では思いやりのある行動の教育をしていないので、もう少し企業側にアプローチした第3次計画になるとよいと思

う。

基本目標Ⅱでは、事業所の取組促進において、企業にメリットがある施策をしていかないと進まないと思う。第2次計画では企業にアプローチしたものがあまり見えず、考え直す必要があると思う。

基本目標Ⅲでは、第3次計画にある高架駅のバリアフリー化には相当なコスト負担を伴い、鉄道事業者としては今後も皆に協力いただきながら前進していきたい。

(田中委員)

先ほどの第2期推進計画進捗状況の冊子を見て、取組内容を知り学ぶことができた。市民に共有されないのはもったいないと感じる。

(事務局)

第2次計画第2期推進計画の5年間の総括となるため、ホームページで市民にも周知していきたい。

(宮田会長)

本件について承認する。

6 その他

- ・はままつUD週間について
- ・ピクトグラム選手権について

事務局より

本日開始のUD週間のパネル展示を案内

(資料3) 第4回浜松市ピクトグラム選手権入賞者により応募状況や入賞作品を説明

7 閉会